

## ■研修会等

### <専教振主催>

#### ○ 学校評価等研修会

12月2日、専教振・全国学校法人立専門学校協会の共催により、学校評価等研修会（大阪会場）が大阪府・大阪ガーデンパレスにて開催された。受講者は130名。

冒頭で開会挨拶を行った（財）専教振研修中央委員会の平田眞一委員長（岡山県・中国デザイン専門学校 理事）が、引き続き講師として「平成20年度の調査研究報告について」の演題で講演を行った。

平田講師からは、平成19年12月に学校評価等の義務化を定めた関係法令および20年度の調査概要と調査結果の解説が述べられた。

続いて、畑野勇・NPO 法人私立専門学校等評価研究機構事務局スタッフ・東京大学・成蹊大学講師が「自己点検・自己評価のあり方について―第三者評価者としての考察―」と題し、私立専門学校等評価研究機構が行う第三者評価の実際について解説を行った。

なお、東京都・アルカディア市ヶ谷を会場として同様のテーマ・講師による研修会が12月9日に大阪で開催され、72名が受講した。

#### ○ 専門学校留学生担当者研修会

12月1日、専教振・全国学校法人立専門学校協会の共催により、専門学校留学生担当者研修会【大阪会場】が大阪府・大阪ガーデンパレスにおいて開催された。出席者は54名。

菅野典子法務省入国管理局入国在留課法務専門官が「出入国管理の現状及び諸施策について」と題し、①出入国管理行政の概要、②入国・在留申請手続き、③留学生の入国・在留の現状、④今後の課題、などについて資料に基づき講演した。

続いて、榎得時子大阪入国管理局留学・研修審査部門統括審査官が「入国・在留関係等諸申請の実務について」と題し、①入国管理局の業務、②外国人の受入れ状況、③入国・在留関係諸申請の手続き、④留学生の受入れ及び在留審査の方針、⑤出入国管理及び難民認定法等の一部改正、などについて資料に基づき講演した。

平岡憲人（社）大阪府専修学校各種学校連合会留学生委員会副委員長が「文部科学省委託事業：専修学校留学生総合支援プラン―関西型留学生就職支援基盤の構築―」と題し、具体的な取組事例と今後の対応課題について説明した。

なお、12月8日には、東京都・アルカディア市ヶ谷を会場として同研修会の【東京会場】が開催された。出席者は

112名。

「出入国管理の現状及び諸施策について」は、茂木勇法務省入国管理局入国在留課留学審査係長、「入国・在留関係等諸申請の実務について」は中鉢昭子東京入国管理局留学・就学審査部門首席審査官、「文部科学省委託事業：専修学校留学生総合支援プラン―（社）東京都専修学校各種学校協会における国際交流・留学生支援事業―」は、平野久美子（社）東京都専修学校各種学校協会評議員・専修学校留学生総合支援プラン事業委員長が説明した。本研修会はともに申請取次者資格取得研修会となった。

#### ○ キャリア・サポーター研究啓発・交流会

12月18日、専教振認定キャリア・サポーター対象「第3回研究啓発・交流会」が東京都・アルカディア市ヶ谷にて開催された。受講者25名に加え、CSM研修運営委員会委員、過去のCSM講座トレーナーなど関係者8名も参加し、熱心な研究協議が行われた。

午前中の第1部では、「就活につまずいた時のキャリア・サポート」と題し、OfficeC&M代表の道幸俊也氏が講演を行った。

午後前半の第2部ではCSM研修運営委員会委員等をアドバイザーに、テーマを「就活とキャリア・サポート～つまずいた学生への対応～」としたグループ討議、全体シェアリングが行われた。

午後後半の第3部では、（財）専教振が平成21年度の研究事業として開発を行っている『キャリア・サポートのための学生向け教材』の開発についての経過報告を、研究委員でもある6名の受講者が教材案をもとに披露した。

最後に、キャリア・サポーター相互の親睦を深めるための交流会を開催し、盛会のうちに全日程を終了した。

#### ○ 管理者研修会

2月3日、専教振・全国学校法人立専門学校協会の共催により、管理者研修会が大阪府・大阪ガーデンパレスにて開催された。受講者は全国から約90名。

福田益和専教振理事長のあいさつに続き、岡村慎一専教振キャリア・サポート教材開発研究委員会委員長が「職業教育におけるキャリア教育技法」と題し、専教振が平成21年度に開発中の学生向けキャリア教育教材を題材としたキャリア教育技法について講演。

小憩後、川越宏樹全専各連新職業教育体系推進担当副会長が「文部科学省 キャリア教育・職業教育特別部会の動向と高等教育における職業教育機関創設への期待」と題し、自らが委員である特別部会の動向と高等教育における新たな職業教育機関創設への期待を述べた。

両講師の講演とも、専修学校の将来について意義深い内容

となり、講演終了後には両講師出席のもとで交流会が行われ52名の受講者が参加。盛会のうちに全日程を終了。

## ○ ビジネス教育事例発表研修会

2月18、19日の2日間、東京都・都市センターホテルを会場に60名の受講者を迎え、第14回ビジネス教育事例発表会が開催された。今回は企業講師3名を招き、B検を使用した社内教育の取り組みや人材育成のお話し、就職意識やビジネス能力・スキルアップの取り組み、基礎学力の向上とキャリア教育の観点からの教育事例、大学の導入事例などが発表された。

東條仁英ビジネス能力検定専門委員の開会あいさつに続き事例発表が始まった。事例発表のタイトルと講師は次のとおり。

特別講演①『CS向上と目標達成をめざした人材トレーニング』宮竹直子（㈱ジェーシービー・サービス）

事例発表①『社会人キャリア教育にビジネス能力検定を導入』菊川ゆかり（専門学校YICグループ）

事例発表②『数学とビジネスとキャリア教育の関係』佐藤和彦（神奈川県立青少年センター）

事例発表③『厳しい就職環境に負けない人材を育成する』田村アキ（ホスピタリティツーリズム専門学校大阪）

事例発表④『経済学部カリキュラムにビジネス教育を導入する取り組み』中本義徳（金沢星稜大学）

特別講演②『JT Bグループの求人方針と教育制度－自律創造型社員の育成－』高橋彩（㈱ジェイティービー）

特別発表『変化の激しい時代を担う人材の育成－B検を基にしたテキスト作成と活用事例－』藤吉昭博（古河電気工業㈱）

事例発表⑤『YMC Aにおけるキャリア教育の実践』上妻史彦（専修学校熊本YMC A学院）

事例発表⑥『総合学習世代を意識したビジネス教育－基礎学力の向上を通してやる気を引き出す－』高橋豊（船橋情報ビジネス専門学校）

## ○ 情報処理担当教員研修会

8月27日、情報処理担当教員研修会が、東京都・アルカディア市ヶ谷にて受講者合計約40名を得て開催された。主催は専教振。開会あいさつの後、「ICT教育と教科情報『社会と情報』を取り組むために」と題し、文部科学省生涯学習局参事官付情報教育係大塚係長が、新学習指導要領における情報教育の内容の高度化に伴い、高等教育機関では、より高度なICT教育の実施が可能となった点など講演。続いて、高等学校における共通教科「情報」2科目に編成された内の一つ、「社会と情報」について、取り組む上で必要な考え方や姿勢につ

いて、情報教育専門委員の鈴木洋光氏より提案がなされた。また、「これからの社会に求められる情報デザイン」と題し、企業からみた情報デザイン教育の必要性について、増淵 賢一郎氏（アドビシステムズ株式会社）より講演。

後半からは、専教振が情報検定の中で先進的に取り組んでいる検定試験「情報デザイン試験」について、検定試験のベースとなっている『身につけたい力』をテーマに、その指導手引書をもとにした教育内容と、専門学校における情報デザイン教育の実践事例を小林 照尚氏（中国デザイン専門学校）、鶴 鉄雄氏（上田安子服飾デザイン専門学校）、村木 威文氏（中央工学校／アクト情報スポーツ保育専門学校 兼任講師）、井上 順子氏（日本電子専門学校）、杉山 行浩氏（総合電子専門学校）が発表した。全テーマを通してのリフレクションでは、様々な教科を指導する際に、「情報デザイン」の考え方がとても参考になったという意見や、今後も情報デザインの具体的な実践事例の紹介を希望するなどの意見が多く寄せられた。

## ○ 教員と講師のためのビジネス教育研修

「全ての教育分野、全ての学校でビジネス教育を実践」を目標に例年全国各地区で開催し、今年度は全国6会場を予定している。主な内容は、企業が求める人材像についての講演、専門学校の講師陣によるビジネス教育の導入事例、授業での取り組み方、ビジネス能力検定の紹介や指導がポイントとなっている。

後期に実施された会場の研修内容は次のとおり。

◆広島会場 11月20日 広島県・メルパルク広島  
特別講演「企業が求める人材像－日本人のポテンシャル－」佐々木茂喜オタフクソース㈱

事例発表①「ケース問題から仕事に対する基本姿勢を学ぶ」中川隆（高知情報ビジネス専門学校）

事例発表②「私が学生にB検を教える理由」牧一郎（中村国際ホテル専門学校）

検定受験の研究「問題作成の視点から」山崎厚ビジネス能力検定問題作成委員会委員長

【参加数30名】

◆熊本会場 11月27日 熊本・KKRホテル熊本  
特別講演「企業が求める人材像」杉山圭右ボッシュ㈱  
事例発表①「社会を生き抜くビジネス能力の養成」石田もとな（専門学校西鉄国際ビジネスカレッジ、国際医療福祉大学）

事例発表②「やる気を引き出す検定対策」高橋豊（船橋情報ビジネス専門学校）

検定受験の研究「問題作成の視点から」山崎厚ビジネス能力検定問題作成委員会委員長

【参加数45名】

## <専門部会・関係団体等主催>

### ○ 文科省・厚生省「専修学校関係予算等に関する説明会

平成22年度の「文部科学省・厚生労働省 専修学校関係予算等に関する説明会」が、東京（2月12日／東京ガーデンパレス／参加者170名）・大阪（2月17日／大阪ガーデンパレス／119名）・福岡（2月19日／福岡ガーデンパレス／76名）で開催された。

文部科学省の平成22年度専修学校関係予算については、専門学校等に対する社会的人材ニーズへの対応として、新規事業「専門人材の基盤的教育推進プログラム」を約9億8千万円計上し、成長分野等で求められる専門人材の養成を産学連携により推進する取組への支援。

また、厚生労働省の平成22年度関係予算のうち離職者等再就職訓練事業（委託訓練）については、雇用・能力開発機構及び都道府県の実施分をあわせて約12万人が計画され、本年度から開始した長期訓練（2年間）では介護福祉士養成コースに加え、保育士養成の訓練を追加することとし、緊急人材育成支援事業の基金訓練も実施することとなっている。

### ○ 全国高等専修学校協会「教育コーチング研修会」

8月21日、「教育コーチング研修会」が、東京都・財専教振検定試験センター会議室を会場に開催された。全国高等専修学校協会主催、受講者は11名。

コアネット人材開発センターからインストラクターを迎え、午前中はトーク理論・スキルによる対話の基本形を修得し、午後からは具体事例によるグループディスカッションや対話実習を行った。

受講者からは「実践的な内容で、生徒に対する生活指導にも進路指導にも生かしたい」、「学校に持ち帰って、他の教員にも内容を伝え、学校として生徒に対する有効なスキルとして活用したい」、「相手に気づかせるコーチングの技法は、高等専修学校の生徒に対して有効であると同時に、保護者との対話・相談活動にも有効な技法であり、継続した研修を希望する」などの感想が寄せられた。

### ○ 「服の日」記念行事

2月9日、「服の日」の記念行事が東京都・アルカディア市ヶ谷で開催された。主催：（財）日本ファッション教育振興協会・全国服飾学校協会、協力：（財）専修学校教育振興会、後援：文部科学省・経済産業省・繊維ファッション産学協議会。

第25回全国服飾学校ファッション画コンクール表彰式では、文部科学大臣賞、経済産業大臣賞、（財）専修学校教育振興会理事長賞ほか、平成21年度服飾教育顕彰式では、服飾教育文化章、服飾教育功労章が、それぞれ受賞者に授与され、その後「服の日記念パーティ」が開催された。

### ○ 第17回全国専門学校ロボット競技会

次号に掲載予定

### ○ 第27回全国専門学校英語スピーチコンテスト

第27回全国専門学校英語スピーチコンテスト（全国語学ビジネス観光教育協会、全専各連、専教振主催、文部科学省ほか後援）が12月7日、東京都・中央区立日本橋公会堂で開催された。

全国から学内予選を通過した11人が出場。受賞者、テーマは以下のとおり。

【文部科学大臣賞】カペリン・ヴィルジニア（大阪府・関西外語専門学校）「石油危機と食糧不足の関係とは？」

【全国語学ビジネス観光教育協会理事長賞】齋藤真菜（東京都・ホスピタリティツーリズム専門学校）「アロハ精神」

【毎日新聞社賞】中尾美奈（福岡県・麻生外語観光&製菓専門学校）「ワーキングマザーズ」

【入賞】西塚ゆかり（神奈川県・外語ビジネス専門学校）「私のすてきなおばあちゃん」、北村舞（東京都・専門学校神田外語学院）「ベストギフト」

【特別賞】剣持史穂（新潟県・国際エア・リゾート専門学校）「消えない思い」

### ○ 第25回全国専門学校卓球選手権大会

第25回全国専門学校卓球選手権大会（全国専門学校体育連盟、全国専門学校卓球連盟主催、文部科学省、全専各連後援）が12月10日から11日の2日間にわたり、東京都・駒沢オリンピック公園総合運動場で開催された。

全国から予選を勝ち抜いた、127名が参加。団体戦の結果は以下のとおり。

<男子の部>

優勝：東京都A（日本ウェルネススポーツ専門学校）、準優勝：新潟県（長岡看護福祉専門学校、北里大学保健衛生専門学校学院）

<女子の部>

優勝：東京都A（中央工学校）、準優勝：新潟県（長岡看護福祉専門学校、北里大学保健衛生専門学校学院）

### ○ 第19回全国専門学校サッカー選手権大会

第19回全国専門学校サッカー選手権大会（全国専門学校体育連盟、全国専門学校サッカー連盟、財団法人日本サッカー協会主催、文部科学省、北海道、北海道専各連合会他後援）が10月17日に、北海道・札幌サッカーアミューズメントパーク競技場で開催された。

全国から予選を勝ち抜いた、20チームが参加。結果は以下のとおり。

優 勝：甲賀健康医療専門学校(滋賀県)  
準優勝：履正社医療スポーツ専門学校(大阪府)

### ○ 第9回全国専門学校テニス選手権大会

第9回全国専門学校テニス選手権大会(全国専門学校体育連盟、全国専門学校テニス連盟主催、宮城県専各連合会後援)が10月26日から4日間にわたり、宮城県・泉総合運動公園泉庭球場で開催された。

全国から予選を勝ち抜いた、32校約150名が参加。団体戦の結果は以下のとおり。

<男子の部>

優 勝：東京スポーツ・レクリエーション専門学校(東京都)

準優勝：履正社医療スポーツ専門学校(大阪府)

<女子の部>

優 勝：大阪社会体育専門学校(大阪府)

準優勝：履正社医療スポーツ専門学校(大阪府)

### ○ 第21回全国専門学校軟式野球選手権大会

第21回全国専門学校軟式野球選手権大会(全国専門学校体育連盟、全国専門学校野球連盟主催、文部科学省、全専各連後援)が11月8日から5日間にわたり、岡山県・倉敷市スポーツ公園マスカットスタジアムで開催された。

全国から予選を勝ち抜いた、17チームが参加。結果は以下のとおり。

優 勝：リハビリテーションカレッジ島根(島根県)

準優勝：大原簿記公務員専門学校千葉校(千葉県)

### ○ 第21回観光英語検定

第21回観光英語検定(全国語学ビジネス観光教育協会主催)が平成21年10月25日(3級、2級、1級1次)、12月13日(1級2次)に実施された。各級の試験結果は以下のとおり。

3級：出願者数3,233名、受験者数2,909名、合格者数1,765名、合格率60.7%

2級：出願者数2,020名、受験者数1,850名、合格者数881名、合格率47.6%

1級：出願者数104名、受験者数81名、合格者数26名、合格率32.1%